

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	高齢福祉室	事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業			
事業概要							
シルバーハウジング生活援助員派遣							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
市内３カ所のシルバーハウジング入居者に対して、相談、助言、安否確認等を行う生活援助員を派遣。 ・生活相談及び安否確認 (R5)11,529件 (R6)11,154件 (R7)11,087件 ・関係機関との連絡調整 (R5)714件 (R6)732件 (R7)639件 ・緊急時の対応 (R5)24件 (R6)25件 (R7)15件 ・一時的な家事援助 (R5)486件 (R6)462件 (R7)206件			決算額 (千円)	15,301	15,982	15,245	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			入居者で身体レベルや特性が異なるなか で、個々に寄り添った丁寧なサービスの 提供を継続していく。 生活援助員の勤務時間外等に緊急的に対 応できる法人が他になく、事業を継続的 に実施することが課題となっている。				継続

2	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護予防・生活支援サービス事業			
事業概要							
介護予防・生活支援サービス							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【通所型サービスA（通所型入浴サポートサービス）の廃止による縮小】 要支援者・基本チェックリスト該当者が利用する高齢者安心・自信サポートサービスの訪問型サービスと通所型サービスを提供する事業者に対し、サービス費用を給付。 ・訪問型サポート件数 （R5）18,352件（R6）18,509件（R7）17,943件 ・通所型サポート件数 （R5）21,505件（R6）23,093件（R7）23,956件 ・訪問型短期集中サポートサービス相談件数 （R5）78件（R6）86件（R7）97件 ・訪問型短期集中サポートサービス利用件数 （R5）19件（R6）22件（R7）33件			決算額 （千円）	850,387	886,241	901,239	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			事業費の増大を想定し、総合事業交付 金に係る上限超過の可能性を視野に入れた 事業運営が必要。				
			継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
高齢福祉室	一般会計繰出事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護予防ケアマネジメント事業				
事業概要								
介護予防ケアマネジメント								
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点	
要支援者・基本チェックリスト該当者が高齢者安心・自信サポートサービスを利用した際の介護予防ケアマネジメント（ケアプラン）作成の費用を事業者に給付。 ・給付件数 （R5）19,650件 （R6）20,110件 （R7）19,691件 ・広報インセンティブ付与件数 （R5）5件 （R6）10件 （R7）7件			決算額 （千円）	97,610	100,768	98,319	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率（％）	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
			高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

4	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護予防事業			
事業概要							
介護予防普及啓発、地域リハビリテーション活動支援							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【低栄養予防レシピ集の作成による拡充】 介護予防普及啓発 ・介護予防教室（口腔） コース数：（R5）8コース （R6）7コース （R7）8コース 参加延人数：（R5）173人 （R6）108人 （R7）154人 ・介護予防教室（栄養） コース数：（R5）7コース （R6）8コース （R7）7コース 参加延人数：（R5）135人 （R6）167人 （R7）149人 ・介護予防教室（認知症） コース数：（R5）4コース （R6）4コース （R7）4コース 参加実人数：（R5）65人 （R6）63人 （R7）42人			決算額 （千円）	15,223	15,504	19,165	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☒ 効率性
			講演会や教室等、介護予防に関する啓 発を実施している。 高齢者人口の増加が見込まれてること から、高齢者が可能な限り自立した生活 が送れるよう、また介護保険制度の持続 可能性を高めるためにも、介護予防活動 の普及に関する取組を継続するととも に、効率的に行う必要がある。				☐ 公平性
							☐ 持続可能性
			今後の実施計画 の方向性・内容				
			継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高額医療合算介護予防サービス費相当事業			
事業概要							
高額医療合算介護予防サービス費相当							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
医療保険各制度において世帯内の同一の医療保険の加入者について、1年間（毎年8月1日から7月31日）の医療保険と高齢者安心・自信サポート事業との自己負担合計額が上限を超えた場合に、その超えた額を給付。 ・給付件数 （R5）107件 （R6）140件 （R7）156件			決算額 （千円）	2,000	2,818	3,055	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れる必要がある。				
			継続				

6	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高額介護予防サービス費相当事業			
事業概要							
高額介護予防サービス費相当費							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者安心・自信サポート事業の訪問型サービス及び通所型サービスの利用者が支払った1か月あたりの自己負担額が、世帯合算で上限を超えた場合に、世帯に給付。 ・給付件数 （R5）630件 （R6）705件 （R7）657件			決算額 （千円）	1,731	1,771	1,793	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

7	所管 室課	高齢福祉室	事業名	在宅生活支援事業			
事業概要							
高齢者・介護家族電話相談、救急医療情報キット配布、緊急通報システム（人感センサー含む）							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者・介護家族電話相談は閉庁時間帯における高齢者や介護家族の相談を行うことで安心して暮らせるとともに介護家族の負担を軽減した。 また、ひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キットを配布することによって、高齢者の安心安全を図った。 （１）高齢者・介護家族電話相談 ・相談件数：（R5）308件 （R6）494件 （R7）408件 （２）救急医療情報キット配布 ・申請者数（累積）：（R5）17,262人 （R6）17,867人 （R7）18,608人 ・救急医療情報キット活用件数：（R5）46件 （R6）88件 （R7）49件 （３）緊急通報システム（人感センサー含む） 通報の受信と駆けつけ費用を支出			決算額 （千円）	22,849	14,957	14,945	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			特になし				
			継続				

8	所管 室課	高齢福祉室	事業名	審査支払手数料事業			
事業概要							
審査支払手数料							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者安心・自信サポート事業のサービス提供事業者への給付費支払を委託している大阪府国民健康保険団体連合会へ給付費審査の支払手数料を支払った。 ・審査件数 （R5）59,493件 （R6）61,710件 （R7）61,530件			決算額 （千円）	2,788	2,892	2,215	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。			継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

9	所管 室課	高齢福祉室	事業名	成年後見制度利用支援事業			
事業概要							
成年後見制度利用支援							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【成年後見制度利用助成金に係る成年後見人等対象職種の追加による拡充】 判断能力が不十分な認知症高齢者等が、成年後見制度による保護を受けることにより、その者の意思を尊重し、その者の権利が守られるよう支援した。 ・市長申立件数 (R5)17件 (R6)15件 (R7)21件 ・親族本人申立件数 (R5)1件 (R6)1件 (R7)3件 ・市長申立分報酬助成件数 (R5)6件 (R6)8件 (R7)13件 ・親族本人申立分報酬助成件数 (R5)65件 (R6)62件 (R7)70件			決算額 (千円)	15,356	17,525	21,042	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			特になし				
						継続	

10	所管 室課	高齢福祉室	事業名	認知症サポーター養成事業			
事業概要							
認知症サポーター養成							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成した。 ・講座開催数：(R5) 55回 (R6) 59回 (R7) 63回 ・認知症サポーター養成数 (R5) 1,078人 (R6) 1,691人 (R7) 1,631人 ・年度末累計サポーター数： (R5) 29,464人 (R6) 31,155人 (R7) 32,786人 ・キャラバンメイト養成研修受講者数 (R5) 37人 (R6) 19人 (R7) 34人 ・年度末キャラバンメイト登録者数 (R5) 324人 (R6) 361人 (R7) 394人 ・認知症サポーターステップアップ講座参加者数 (R5) 82人 (R6) 96人 (R7) 77人			決算額 (千円)	239	496	279	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			認知症サポーター養成講座の開催を 小・中学校や大学に働きかけたり、オン ラインや休日開催することで、開催数は 増加したが、参加者数は横ばいである。 引き続き、教育委員会や関係機関と連携 し、学校等に対し周知していく。				
			継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

11	所管 室課	高齢福祉室	事業名	認知症高齢者見守り事業			
事業概要							
徘徊高齢者SOSネットワーク、認知症地域サポート							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
認知症高齢者等が徘徊行動により行方不明になった場合に備えて、早期発見ができるネットワークの構築及び運用を図り、市全体で高齢者を見守り支えることで高齢者の安全を守り、その家族の精神的負担を軽減した。 (1) 徘徊高齢者SOSネットワーク (みまもりあいステッカー・アプリ) ・利用者数 (R5)205人 (R6)244人 (R7)281人 ・アプリダウンロード数 (R5)9,361件 (R6)9,615件 (R7)12,551件 ・アプリによる延搜索依頼件数 (R5)349件 (R6)154件 (R7)111件 ・ID転送通報延件数 (R5)198件 (R6)103件 (R7)89件 (2) 認知症地域サポート (声かけ見守り訓練) (R5)実績なし(R6)実施地区1(参加人数36人)(R7)実績なし			決算額 (千円)	308	499	876	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			認知症地域サポート（声かけ見守り訓練）について、令和6年度に実施方法を簡略化し、ホームページ等で周知しているが、令和7年度は実績がなかった。引き続き、認知症地域支援推進員と情報交換しながら、周知していく。				
				継続			

12	所管 室課	高齢福祉室	事業名	認知症施策推進事業			
事業概要							
認知症初期集中支援推進、認知症地域支援・ケア向上							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備や医療と介護の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図った。 (1) 認知症初期集中支援推進 ・相談件数 (R5) 101件 (R6) 108件 (R7) 82件 ・支援対象者数 (R5) 60人 (うち新規43人) (R6) 68人 (うち新規51人) (R7) 71人 (うち新規48人) ・延べ訪問回数 (R5)662回 (R6)995回 (R7)1,214回 ・支援終了件数 (R5)43件 (R6)45件 (R7)51回 ・チーム員会議開催回数 (R5)42回 (R6)40回 (R7)39回 (2) 認知症地域支援・ケア向上 ・年度末認知症カフェ数 (R5)23か所 (R6)28か所(R7)32か所 ・チームオレンジ数 (R5)1チーム (R6)2チーム (R7)4チーム (1) (2) ・選定等委員会開催数 (R5)1回 (R6)2回 (R7)1回			決算額 (千円)	17,716	17,758	17,945	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			今後、認知症初期集中支援チームに係る委託先、専門医の確保の調整が必要である。 認知症の人の声を聴く機会を捉え、当事者の視点も踏まえながら、事業等について取り組んでいく。		継続		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

13	所管 室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援・社会保障充実事業			
事業概要							
在宅医療・介護連携推進、地域ケア会議開催							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
医療介護関係者や地域団体等の多様な関係者が協働し、高齢者の生活を地域全体で支援するためのネットワークづくりや、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するための在宅医療・介護連携推進に関する取組を実施した。 (1) 在宅医療・介護連携推進 ・協議会開催数 (R5)1回 (R6)1回 (R7)1回 ・ケアネット実務者懇話会 (R5)1回 (R6)1回 (R7)1回 ・ケアネット実務者懇話会作業部会 (R5)5回 (R6)3回 (R7)3回 ・ケアマネ塾 (R5)2回 (R6)2回 (R7)2回 ・多職種連携研修会参加数 (R5)82人 (R6)96人 (R7)94人 (2) 地域ケア会議開催数 ・ブロック別・地域別定例会 (R5)20回 (R6)18回 (R7)19回 ・随時会 (R5)0回 (R6)1回 (R7)2回			決算額 (千円)	6,499	6,497	6,634	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			地域包括ケアシステムの深化のため、 地域課題に対する検討や、在宅医療と介護 連携のための取組の継続が必要。				
			拡充			既存の連携システムを 見直す予定	

14	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護サービス相談員派遣事業				
事業概要								
介護サービス相談員派遣								
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点	
(1)派遣施設 ・令和5年度 38施設 ・令和6年度 40施設 ・令和7年度 44施設 (2)活動回数 ・令和5年度 368回 (令和5年6月より活動再開) ・令和6年度 632回 ・令和7年度 721回 (3)介護サービス相談員数 ・令和5年度 18人 ・令和6年度 21人 ・令和7年度 24人			決算額 (千円)	1,301	2,133	5,829	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性	
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0		
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
			令和2年度から令和4年度まで新型コ ロナウイルス感染症予防のため、部外者 の施設訪問が難しい状態が続き、令和5 年度は介護サービス相談員の受入れが可 能となった事業所から順次再開してい る。感染症拡大の懸念から外部からの出 入りに慎重な施設も多く、引き続き、事 業の理解を得ることが必要である。派遣 施設の周知、介護サービス相談員の確保 の課題を解決するため令和7年度から事 務局の委託化を実施しており、順調に派 遣施設や介護サービス相談員数は増加し ている。					
				継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

15	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護給付費適正化事業			
事業概要							
介護給付費通知（令和6年度末廃止） 、介護給付費等分析							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
介護給付費等分析 ・算定内容を確認した事業所数 令和5年度 47事業所 令和6年度 82事業所 令和7年度 35事業所 ・対象件数 令和5年度 85件 令和6年度 269件 令和7年度 57件			決算額 (千円)	5,579	3,546	1,447	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			令和7年度より、保険者機能強化推進 交付金に係る評価基準に合わせ点検方法 や対象者抽出の方法の見直しを行った。 居宅介護支援事業所に対して、必要な助 言を行うためには専門的な知識や経験が 必要であり、職能団体への委託を検討に 入れる必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
継続							

16	所管 室課	高齢福祉室	事業名	住宅改修支援事業			
事業概要							
住宅改修支援							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 助成件数 ・令和5年度 22件 ・令和6年度 12件・令和7年度 8件			決算額 (千円)	44	24	16	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			本来、介護報酬での対応が望ましい が、現行制度では本事業を継続する必要 がある。				
			継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画等作成事業			
事業概要							
介護予防サービス計画等作成							
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点	
平成31年4月に地域包括支援センターの直営は基幹型地域包括支援センター（高齢福祉室）のみとなり、サービス計画策定は終了した。 委託型地域包括支援センターの後方支援として、対応困難、緊急対応ケース等のケアプラン作成が生じた場合に備えて、高齢福祉室を指定介護予防支援事業者として登録しているが、実績はなし。		決算額 (千円)	10	0	0	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		指定介護予防支援事業を実施するすべての委託型地域包括支援センターの運営について、附属機関に基づく委員評価で「求められるレベルに達している」と評価を得ており、運営は安定している。 高齢福祉室が委託型地域包括支援センターのケアプラン作成を支援しなければならない状況に至ったことはない。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者短期入所事業			
事業概要							
高齢者虐待対応短期入所生活介護、要援護高齢者緊急短期入所							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【要援護高齢者緊急短期入所の実施による拡充により、事業名を高齢者虐待対応短期入所生活介護事業から高齢者短期入所事業へ変更し統合】 高齢者虐待等により高齢者を緊急に保護することによって、高齢者の自己決定の尊重と権利擁護を図った。 (1) 高齢者虐待対応短期入所生活介護 (R5)・措置者数 2人 ・延利用日数 14日間 (R6)・措置者数 2人 ・延利用日数 53日間 (R7)・措置者数 1人 ・延利用日数 19日間 (2) 要援護高齢者緊急短期入所（令和7年度から開始） (R7)・実績なし			決算額 (千円)	74	279	107	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
特になし				継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	在宅福祉サービス事業			
事業概要							
高齢者日常生活用具給付等、緊急通報システム(人感センサー含む)、高齢者訪問理美容サービス、高齢者見守り活動協力事業者との連携による見守り、高齢者家具等転倒防止器具設置助成、家族介護用品支給							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
日常生活用具の給付等を行い、高齢者の福祉の増進を行った。 (1) 高齢者日常生活用具給付等 (R5)50件 (R6)43件 (R7)41件 (2) 緊急通報システム(人感センサー含む) ・給付件数(R5)156件 (R6)140件 (R7)111件 ・年度末設置数(R5)1,270台(R6)1,214台(R7)1,184台 人感センサー ・給付件数(R5)7件 (R6)39件 (R7)17件 ・年度末設置数(R5)14台(R6)50台(R7)63台 (3) 高齢者訪問理美容サービス ・延利用件数(R5)40件(R6)83件(R7)118件 (4) 高齢者見守り活動協力事業者との連携による見守り ・年度末協力事業者数 (R5)627事業者(R6)620事業者(R7)614事業者 (5) 高齢者家具転倒防止器具設置助成 ・助成件数(R5)2件(R6)2件(R7)6件 (6) 家族介護用品支給 ・延べ利用件数(R5)1,248件 (R6)1,504件 (R7)1450件			決算額 (千円)	28,914	18,089	15,274	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.9	99.9	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				今後の実施計画 の方向性・内容			拡充 補聴器購入補助制度の 創設等の検討

4	所管 室課	高齢福祉室	事業名	診断料助成事業			
事業概要							
診断料助成							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 助成件数 ・令和5年度 318件 ・令和6年度 248件 ・令和7年度 179件			決算額 (千円)	4,872	3,645	2,937	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			■ 公平性 ☐ 持続可能性	
			介護を必要とする高齢者の生活環境が 多様化する中、助成対象の施設が限られ るため、決算額は減少傾向にある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業 (地域包括支援センター・財産)			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの公有財産購入に伴う支出。			決算額 (千円)	7,383	7,277	7,174	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

6	所管 室課	高齢福祉室	事業名	通いの場補助事業			
事業概要							
街かどデイハウス補助							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
介護予防又は生活支援を要する高齢者を対象に、健康チェック、給食、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防やレクリエーション活動等のサービスを提供する場（街かどデイハウス）を運営する者に対して、補助金を交付した。 街かどデイハウス運営団体：6団体 ・延利用者数 （R5）10,995人（R6）9,498人（R7）9,090人			決算額 （千円）	25,720	22,399	22,432	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				■ 公平性 ■ 持続可能性
			市域内での街かどデイハウス開設場所に偏りがある。また、街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。 高齢者の集いの場として市民周知をさらに進めていく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

7	所管 室課	高齢福祉室	事業名	福祉クーポン券交付事業			
事業概要							
通院困難者タクシークーポン券交付、はり・きゅう・マッサージクーポン券交付							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者に通院困難者タクシークーポン券を交付することで、通院の利便性向上を図った。また、高齢者の健康保持のため、はり・きゅう・マッサージクーポン券を交付した。 (1) 通院困難者タクシークーポン券 ・交付者数 (R5)1,042人 (R6)1,043人 (R7)1,139人 ・交付枚数 (R5)25,008枚 (R6)21,682枚 (R7)23,678枚 ・使用枚数 (R5)9,314枚 (R6)10,891枚 (R7)12,913枚 (2) はり・きゅう・マッサージクーポン券 ・交付者数 (R5)242人 (R6)242人 (R7)221人 ・交付枚数 (R5)1,318枚 (R6)1,326枚 (R7)1,225枚 ・使用枚数 (R5)786枚 (R6)718枚 (R7)642枚			決算額 (千円)	8,506	11,275	12,978	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	99.9	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			(1) 交付者数、使用枚数とも年々増加している。今後も利用状況の把握に努め、利用者のニーズを考慮した制度となるよう検討していく。				
				継続			

8	所管 室課	高齢福祉室	事業名	福祉の措置事業			
事業概要							
養護老人ホーム入所措置、やむを得ない入所等措置							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じた。 (1) 養護老人ホーム入所措置 ・延べ措置者数 (R5)245人 (R6)231人 (R7)227人 ・年度末措置者数 (R5)20人 (R6)19人 (R7)21人 ・新規入所者数 (R5)6人 (R6)1人 (R7)3人 ・退所者数 (R5)5人 (R6)2人 (R7)1人 (2) やむを得ない入所等措置 ・措置者数 (R5)0人 (R6)1人 (R7)1人			決算額 (千円)	54,496	53,389	52,837	※課題があるものは■
			一般財源 の 比率(%)	80.3	77.3	75.4	☐ 市民ニーズ、社会的役割
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 有効性
			特になし				☐ 効率性
							☐ 公平性
				☐ 持続可能性			
				今後の実施計画 の方向性・内容			
				継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実			
管理事業	地域支援事業		所管部局	福祉部		
1	所管室課	高齢福祉室	事業名	生活支援体制整備事業（重層）		
事業概要						
生活支援体制整備						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度から重層的支援体制整備事業に移行し、地域づくりに向けた取組を行った。 高齢者の多様なニーズに応えるために生活支援サービスの体制整備や支援が包括的に行えるようなネットワークづくり取り組んだ。 ・協議会開催数 (R5) 3回 (R6) 3回 (R7) 3回 ・生活支援コーディネーター配置数 (R5) 3人 (R6) 3人 (R7) 3人 ・市民フォーラム等の開催 (R5) 1回 (R6) 1回 (R7) 1回		決算額(千円)	16,600	16,583	16,626	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	19.8	
				事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		協議会を効率的に運営し、生活支援体制整備事業や地域ケア会議との連動を引き続き進める。			継続	

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	地域介護予防活動支援事業（重層）		
事業概要						
住民主体の介護予防活動支援、介護支援サポーター						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度から重層的支援体制整備事業に移行し、地域づくりに向けた取組を行った。 (1) 住民主体の介護予防活動支援 ・いきいき百歳体操フォロー講座 実施回数：(R5) 301回 (R6) 331回 (R7) 350回 延参加者数：(R5) 3,478人 (R6) 3,835人 (R7) 4,135人 (2) 介護支援サポーター 研修開催回数：(R5) 12回 (R6) 10回 (R7) 12回 受講者数：(R5) 39人 (R6) 25人 (R7) 33人		決算額(千円)	6,839	11,978	13,661	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	12.6	
				事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		住民主体で活動しているいきいき百歳体操グループへの参加者数は増加しているが、高齢者人口の増加により要介護認定者数も増加する見込みである。住民主体で介護予防活動や社会的な活動に取り組めるよう、通いの場等の周知や、活動継続の支援に関して、引き続き取り組んでいく必要がある。			継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	地域支援事業	所管部局	福祉部

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	通いの場・集いの場介護予防事業（重層）			
事業概要							
街かどデイハウス介護予防、ふれあい交流サロン介護予防							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度から重層の支援体制整備事業に移行し、地域づくりに向けた取組を行った。 （１）街かどデイハウス介護予防 街かどデイハウス運営団体：6団体 ・介護予防事業延参加者 （R5）11,076人（R6）9,736人（R7）9,687人 （２）ふれあい交流サロン介護予防 ・高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・決算額：15,292千円 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数 11団体 ・延べ利用者数：46,839人（うち介護予防取組利用者：14,638人）			決算額 （千円）	25,830	26,243	26,335	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	0.0	0.0	12.6	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				■ 公平性 ■ 持続可能性
			（１）市域内での街かどデイハウス開設場所に偏りがある。また、街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。 （２）令和6年度末に1箇所閉所したものの、令和7年度に新規運営団体の募集を行い、設置目標数の12箇所については達成しているが、引き続き、各サロンを気軽に利用いただける取組を支援していく。 （１）（２）高齢者の集いの場として市民周知をさらに進めていく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援事業（重層）				
事業概要								
包括的支援、委託型地域包括支援センター運営、地域包括支援センター運営協議会運営								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度から重層的支援体制整備事業に移行し、相談支援に向けた取組を行った。 地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うよう、地域包括支援センター15か所及び基幹型地域包括支援センターを設置・運営した。 （１）包括的支援 ・相談件数（市内全体） （R5）31,724件（R6）32,144件（R7）34,133件 （R7内訳）権利擁護 4,235件 ケアマネジャー支援等 1,997件 介護保険サービス等 27,901件 ・相談件数（市内全体のうち基幹型） （R5）2,503件（R6）2,415件（R7）3,289件 （R7内訳）権利擁護 1,186件 ケアマネジャー支援等 27件 介護保険サービス等 2,076件 （２）地域包括支援センター運営協議会運営 協議会を年2回開催				決算額 （千円）	408,020	447,713	449,951	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率（％）	0.0	0.0	26.6	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				相談件数は年々増加傾向にある。また、複合的な課題を抱えた相談への対応や地域活動の多様化に伴い、地域包括支援センターに求められる機能が発揮できるよう、安定した体制を維持していく必要がある。 今後、一部の委託型センターについて建物の大規模改修による移転の可能性があるため、委託先や他室課との調整が必要になる。				拡充
								法改正に伴うシステムの改修が必要。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	地域支援事業	所管部局	福祉部

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業 (地域包括支援センター・重層)				
事業概要								
千里ニュータウンプラザ施設管理								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度から重層の支援体制整備事業に移行し、包括的相談支援に向けた取組を行った。 桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの維持管理経費を支出した。 【決算内訳】 ・(R5) 合計 4,976千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 4,124千円 光熱水費 852千円 ・(R6) 合計 4,841千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 3,964千円 光熱水費 877千円 ・(R7) 合計 5,548千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 4,659千円 光熱水費 888千円				決算額 (千円)	4,976	4,841	5,548	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	26.6	☐ 有効性 ☐ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
								継続

	所管 室課		事業名					
事業概要								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
				決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
							今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名